

月刊 ORANGE SUNSHINE 第21号

発行日: 令和4年11月12日(土)

試合結果

第21号では以下をお伝えいたします。

- ◆第29回中四国男子学生リーグ戦FINAL
- ◆2022年度リーグ戦の総括
- ◆26期生からのコメント
- ◆1回生練習試合

◆第29回中四国男子学生リーグ戦FINAL

10/10(月)に広島広域公園第二球技場にて、広島大学との試合を行いました。中四国リーグ戦の決勝戦ということもあり、たくさんのOB・OGの方々が応援に来ていただきました。ありがとうございました。また、当日ご都合が合わなかった方もたくさんの応援メッセージをいただきありがとうございました。「3連覇するチームを作る」という今年の目標は達成できませんでしたが、より一層中四国制覇への想いが強まりました。

	1Q	2Q	3Q	4Q	Total
徳島	3	2	0	3	8
広島	1	5	1	3	10

	1Q	2Q	3Q	4Q
得点者	#96 佐藤尚哉 (3回/MF)×2 #15 神田悠生 (2回/MF)	#99 澤邊翼 (3回/AT) #70 久保田正人 (4回/MF)	—	#1 能瀬赴颯 (4回/AT)×2 #70 久保田正人 (4回/MF)



1Q

緊張感が漂う中、#17西本昇平(4回/FO)のフェイスオフで試合が始まる。惜しくも広島にポゼッションを取られ、開始1'26で広島#18に先制点を許しスコアは0-1。#77山田朗人(2回/DF)のナイスGBで徳島の攻撃から始まる(2'10)。しかしその後、ボールダウンにより広島の攻撃に移り2度のシュートを打たれるが#69松田光喜(4回/G)のナイスセーブが続く。広島のオフサイドで徳島ボールからリスタート。このチャンスを逃さず#96佐藤尚哉(3回/MF)が見事シュートを決める(8'24)。スコアは1-1。この流れに続くように、#15神田悠生(2回/MF)も得点を決め2-1(9'34)。さらに#96佐藤が2得点目を決め(13'59)、スコア3-1で徳島2点リードのまま1Qが終了した。

2Q

1Qの勢いが落ちることなく開始5分間で#99澤邊翼(3回/AT)(2'25)、#70久保田正人(4回/AT)(4'23)が得点を決めスコアは5-1と大きくリードを広げる。#23古関寛太(3回/MF)もシュートを打つがゴールキーパーセーブで広島のクリア。#76吉田雄貴(4回/DF)がボールダウンするがプッシングで徳島のマンダウン。#3のシュートをゴールキーパーセーブ(7'26)し徳島のクリアだが、パスカットされ得点を許してしまう。スコアは5-2(7'36)。ここでマンダウン解除。次のクリアもDF間でのパスミスがあり、ノーゴリーの状態で広島シュート。スコアは5-3。ここで徳島大学のT.O.(11'17)。気持ちを切り替えてリスタートするも、FO負けで広島の攻撃が続く。#11にシュートを決められスコア5-4(11'52)。流れを変えることができずに相手のペースで試合が進んでいく。FOで徳島のポゼッションとなるがボールダウンされライド。#3のシュートが決まり、5-5のイーブンに(13'00)。その後も#6に得点を許す(14'36)。5-6の徳島1点ビハインドで2Qの終了。

3Q

ハーフ間でのクロスチェックにより広島がイリーガルクロスであったため、徳島3分間エキストラ。果敢にゴールを狙うも得点につながらず、#0広島Gがセーブしそのままロングパスを出す。クリア前のGBで負け広島のシュートが決まる(2'14)。スコアは5-7。広島の攻撃でリスタートするも#33吉良侑真(4回/DF)のチェックが決まり徳島のクリア(3'30)。徳島の攻撃になるがなかなかシュートまでいけず無得点、広島のT.O.(9'50)。その後は徳島広島共に一歩も引かず、スコア5-7で徳島2点ビハインドのまま3Qが終了した。

4Q

FOで勝ち、徳島のポゼッション。まずは攻撃から始まった。#1能瀬赴颯(4回/AT)が積極的にゴールを狙うも得点につながらない。7分間はお互いにノースコアのまま試合が進む。停滞状態の中、#70久保田から#1能瀬にパスが渡りシュート。見事に決まってスコア6-7。ここで徳島のT.O.(7'16)。このまま徳島の流れに持っていけるかと思われたが、広島#4のシュートが決まりスコア6-8と再び2点のリードを許す(10'48)。相手のキャッチミスでルーズボール、#3吉良のナイスGB(12'11)で徳島のポゼッション、#1能瀬にパスが渡り2得点目の豪快なシュート(12'21)。スコア7-8と1点差に迫る。イリーガルプロシージャで広島ボール。その後2得点続けて決められ、残り1分でスコアが7-10。広島のトリッピングで徳島からのリスタート。残り数秒で#70久保田のシュートが決まり8-10(14'56)。得点後のFO中に試合終了のホイッスルが鳴り、最終スコア8-10で広島大学に敗れた。

表彰者

ベスト11,VP #1 能瀬赳颯(4回/AT)
得点王 #70 久保田正人(4回/AT)
新人王 #77 山田朗人(2回/DF)

おめでとうございます！



コーチからのコメント

OFはチーム始動時から"Challenge & Cover"のテーマのもと全員がゴール意識を持ちFINALで8得点することを目標にやってきました。ファイナルでは目標となる8得点を達成した内の半分は下級生の得点で、テーマの体現を感じとても嬉しかったです。しかし、勝たせてあげることが出来なかった今後の課題として、得点力向上はもちろんのこと試合展開に合わせたゲームコントロールの大事さを痛感しました。来年度は試合経験を重ね試合巧者になってほしいと思います。

(小田匠馬/22期生/OFコーチ)



HC

中原大輔

(2010年卒)



今年はコロナの影響もあり、ここ数年で最も個人能力の低いチームでした。リーグ期間中に全員が成長することが求められ、学年関係なく幅広くチャンスを与えていく方針で戦い抜きました。

◆愛媛戦(8/7) 7-2

チームのエースである能瀬(4回生、AT)が怪我を抱えており、『能瀬に極力頼らずに勝つ』ことが目標でした。

しかし、先制点を取られた上になかなかOFがリズムに乗れない中、要所要所で出場した能瀬が得点を取ることで試合を優位に進めることができました。目標を達成することはできませんでしたが、中盤以降はチームも落ち着き危なげなく勝利を収めることができました。

◆松山戦(9/11) 3-5

どこか浮ついた雰囲気を作ってしまう、OF/DFともに全く噛み合いませんでした。今思い返してみれば、阿波踊り期間後にコロナ感染者が部内で多数発生したことも原因の一つかもしれません。

そんな中、岡田(1回生、FO)や山田(2回生、L)と言った若い力が躍動したことは内容の悪い敗戦の中で唯一のポジティブな要素でした。

◆香川戦(9/17) 11-1

松山戦の敗戦から1週間も経たずに開催された香川戦でしたが、チームとしては敗戦を乗り越えたことを示す快勝でした。グラウンドの芝の影響で思った以上にバウンドシュートが使えないことに序盤苦しみましたが、すぐに修正することができました。このグラウンドで試合をした経験がFINAL4に大きなアドバンテージを生むことになりました。

◆岡山戦(9/25) 6-3

勝つならロースコアの接戦、6-5もしくは5-4くらいだろうとチームでは話をしていました。岡山大学戦に向けた対策としては①OFはセットプレーを数パターン作り、それを組み合わせて使い分けていく②DFは今シーズン初めてゾーンを使い、マンツーマンと使い分けながら相手をかく乱する③MFの大部分をOF専用DF専用に分け役割分担をするという3つをメインに行いました。

実際の試合では上記3つの対策がうまくハマリ、ゲームプラン通りに試合を運ぶことができました。

また、チーム全員が持てる力を発揮しきることができ、私の長年のコーチ生活の中でもトップクラスの試合内容でした。

◆広島戦(10/10) 8-10

岡山戦と比べて点の取り合い、勝つなら7-5~9-7くらいになると予想して試合の準備を行ってきました。良い立ち上がりで5-1とすることができましたが、不要なファールやミスの影響で連続5失点し、その影響をカバーしきることができず、負けてしまいました。

あの2Qの10分間はどうすれば良かったのか今でも答えは出ません。今後のラクロス生活の中でも忘れることのない敗戦になりました。正直、今でも10回やったら7回は勝てると思っていますが、残りの2,3回が当日に出ってしまったと感じています。

このリーグ期間を通して、選手の個人能力は予定よりも伸ばすことができず、4回生の中心選手におんぶにだっこなシーズンとなってしまいました。来年、徳島大学男子は大きなターニングポイントになると考えています。落ちた戦力をいかに取り戻すか、一部二部制に戻った初年度をいかに戦うか。残された3回生以下はこの冬でしっかり成長して欲しいと思っています。絶対的な選手がないということは逆に考えればこの冬次第で予期していなかった選手が中心になることも考えられますので、OBの皆さんも注目してもらえれば嬉しいです。

OFコーチ
小田匠馬
(2019年卒)



個人テーマとしてバサロを真似て"ラクロスを面白く、ラクロスで面白く"でやってきました。
"Paul Rabil化計画"や"シュートフェス"、"クリスマスクリメ"、"侍ラクロス"、"煩惱シュー練"、"FOGO ORANGE杯"などなど徳大イベント盛りだくさんでラクロスの魅力を少しは伝えられたのかなと思います。
また、県外在住&社会人ラクロスをしているため月1程度しか徳島に行けませんでした。OF幹部であるたけぞう、まさとを始め一生懸命ついてきてくれた現役達には感謝しかありません。
今年度1年間本当にありがとうございました。

DFコーチ
今井駿太
(2022年卒)



今年度は自分自身の強みである1on1を中心にDFを作りあげてきました。練習中やMTGでは、厳しい言葉をかけることもありましたが、期待に応えようと努力し成長する姿を見せてくれた現役達には、感謝の気持ちでいっぱいです。
コーチとして指導する立場ではありましたが、たくさんの方のことを現役達から学ばせてもらい、とても良い1年になりました。
1年間本当にありがとうございました。

主将
宮崎涼輔



保護者の方やOBGの方は今年度のリーグ戦でのたくさんの応援ありがとうございました。
今年度は四国リーグで1敗してしまうという不甲斐ない姿を見せましたが、もう負けられない状況のなかFINAL4を勝ちきれたことはとてもいい経験になったと思います。そして試合経験の少ない後輩たちに勝つ喜びを感じて貰えたと思っています。
ですが、FINALでは悔しい結果となりました。ここでの悔しさが残るまま現役を引退してしまうのはとてももどかしいですが、この悔しさを後輩に還元し、来年こそ目標達成できるよう支援していきたいと思っています。ありがとうございました。

●FINAL4(9/25)

	1Q	2Q	3Q	4Q	Total
徳島	1	0	1	4	6
岡山	1	1	1	0	3

●愛媛戦(8/7)

	1Q	2Q	3Q	4Q	Total
徳島	1	1	2	3	7
愛媛	1	0	1	0	2

●松山戦(9/11)

	1Q	2Q	3Q	4Q	Total
徳島	2	0	0	1	3
松山	2	1	2	0	5

●香川戦(9/17)

	1Q	2Q	3Q	4Q	Total
徳島	2	4	2	3	11
香川	0	0	0	1	1

●FINAL(10/10)

	1Q	2Q	3Q	4Q	Total
徳島	3	2	0	3	8
広島	1	5	1	3	10

◆26期生コメント

26期生のみなさんからラクロスを続けてよかったことや後輩へ伝えたい思いなどを聞きました。



宮崎涼輔 みやざきりょうすけ
主将、DF

みんなが今年1年どのように感じているかは分かりませんが、このチームに最後までついて来てくれてありがとう。

4年生になるとチーム運営も増えてきて、あまり後輩との時間を多くとることはできなかったのがすこし残念です。4年間ラクロスをやることはとても大変だと思いますが、辛いことや楽しいこと、喜怒哀楽を共有できるたくさんの仲間と同じ境遇で生活できることはとても貴重なものです。青春とはまさにこの事だと思っています笑
思う存分青春してください！それがコミュニケーションにつながり強いチームとなると思います。

活躍期待しています、そして今年1年ありがとう。
悔いの残らないよう、色々なことを経験して成長してください。



吉良侑真 きらゆうま
副主将、DFリーダー

この4年間はラクロスのおかげで部活もプライベートも楽しく過ごせてラクロス部には行って良かったと心の底から思います。ですが最後のファイナルを敗北で終わってしまい念願の中四国優勝をできなかったことが悔しいです。そのためにこれまで練習をしてきたのに負けるともっとできることがあったのではないかと後悔を繰り返しています。後輩たちにはそうなってほしくないのだからからはOBという形で自分がしてきたことを還元し、後輩たちが優勝するための力になればと思っています。今まで応援してくださってありがとうございました！





能瀬 昶颯 のせたけぞう
副主将、OFリーダー、AT

この4年間で良かったことは1年生の時にラクロスというスポーツと出会えたことです。僕は小中高12年間野球にどっぷりでしたが、大学でここまで真剣になれるスポーツに出会えるとは思っていませんでした。ひたすらラクロスと向き合い日々成長を感じることができて、とても充実した4年間になりました。目標を掲げて達成することの難しさやそれに挑戦する楽しさは大学ラクロスだからこそその魅力だと思います。

先輩後輩、コーチ陣など様々な人に支えられて走りきることができた4年間でした。ありがとうございました！この4年間をもとに次のステージでも頑張りたいと思います！本当にありがとうございました！！



吉田 雄貴 よしだゆうき
DF

4年間続けてよかったことは2つあります。1つ目は大学生活が充実したことです。朝早くから起きてスポーツをすることで、良い1日のスタートを切ることができました。2つ目は、良い仲間を持ったことです。大学生になって遊びに行くのも、ご飯を食べに行くのも、飲みに行くのもほぼラクロス部でした。

振り返るととても濃い4年間でした。ありがとうございました。





久保田正人 くぼたまさと
AT

4年間ラクロスを続けて良かったことは2つあります。1つはたくさんの人に出会えたことです。徳島大学男子ラクロス部に所属していなければ出会っていないだろうコーチや先輩、同期、後輩と出会えたことは誇りに思います。もう1つは目標に向かって全力で取り組めたことです。僕は中学でバスケ、高校はハンドボールをしていました。どちらも強いわけではなく目標も初戦で勝てたらいいな程度で、練習もそこそこ頑張ったぐらいで結果は初戦敗退でした。なので、大学では本気でやってる部活に入りたいと思いハンドボール部とラクロス部で迷いラクロス部に入りました。1年生の時にサマーで優勝したり中四国制覇する瞬間を目の当たりにして目標を達成することの素晴らしさを体感しました。そして、自分たちの代になり日々努力をして目標に向かって取り組めたことは一生の思い出です。



次に後輩に伝えたいことですが、これも2つあります。1つは自分の武器を見つけそれを4年間で磨き続けてほしいです。僕は1年生の頃に自分の武器は1on1だと思い、それを磨くためにステップを調べたりアフターで1on1をしたりしました。それを4年間継続した結果、4年生のタイミングで1on1能力が開花してOFで1on1を任されてたと思っています。個人の武器はチームの武器になると思うのでまずは武器を見つけ、それを4年間で開花させて欲しいです。次に、もう1つはラクロスにお金をかけて欲しいです。ラクロスはやはりお金がかかるスポーツです。メッシュはすぐダメになるし、スパイクだってサッカー用だとすぐポイントがなくなってしまいます。でも、そこでケチってしまったら上手くなるものも上手くならないと思います。試しにメッシュを3~4ヶ月ぐらいで変えてみたりラクロススパイクを使ってみたりしてください。プレーがより良くなると思いますよ。

最後に、徳島大学男子ラクロス部に所属して大学4年間を過ごすことができ本当に良かったと思えます。また、お世話になった皆さん本当にありがとうございました。僕は徳島にこれからもいると思うので時間がある時は練習に来ますね~！





松田光喜 まつだこうき
Gリーダー

4年間続けて多くのことを学ばせてもらい、成長することが出来ました。最初はラクロスをするという選択は新歓ではなく、自分を変えたい気持ちから勢いで入りました。途中で退部をしたい気持ちが湧くこともありました同期はもちろん、先輩や後輩、コーチとの「出会いを無駄にしたくない」、ここで挫けたら「将来自分は弱い人間になる」そんな思いで自分はずらい時期を乗り越えました。その結果自分は人間として成長し、最高の4年間を過ごすことができたと思います。最高の出会いや人としての成長をさせてくれた徳島大学男子ラクロス部には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



西本昇平 にしもとしょうへい
FOリーダー

大学生になってオリエンテーションを受けたあと高校の部活の先輩に連れられてラクロス部の新歓に参加したことがついこの間のこのように感じます。僕はふうきさんのゴリ押しに負け、いけりさんの家でのホームパーティで入部届を書きました。そんな勢いで入部を決めた僕の4年間は数えきれないほど色々な人に支えられた4年間でした。

1年生の頃からプライベートでも部活中でもお世話になり続け勝利に導いてくれたコーチの方々、目標に向かって部活動に本気で向き合い自分が心が折れそうとき寄り添い支えてくれた先輩方、骨折しながらFINALに出場してイリプロをかます先輩もいましたね。普段舐め腐ってるけど試合になると少し頼りになる可愛い後輩たち、入部したときからたくさん減ったけど最後の最後まで一緒にラクロス生活4年間を走り抜けた同期のみんな、たくさんの人たちとの出逢いがぼくにとってかけがえのない宝物です。

ラクロス部に入部しなければこんな最高の出逢い、最高の4年間を過ごすことはありえませんでした。4年間本当にありがとうございました。徳島大学男子ラクロス部は最高です！





小笠原 諒 おがさわら りょう
AT

正直、現役生活は決して納得のいくものではありませんでした。コロナ、足首のねんざ、腰椎分離症、ファイナル直前の怪我、チームメイトと比べても半分以上練習に参加できず見学し、苦しい思いをしました。特にファイナルでは同期や後輩たちが頑張っている姿をただベンチで見守ることしかできませんでした。しかし、ラクロスを通じて様々な人たちと出会い、常に成長できる環境であったことは今後の自分にとってかけがえのないものになりました。

怪我をしてやめようと思ったこともありましたが、先輩方のラクロスを楽しむ姿勢や取り組む姿をみて、いつか自分もあのようになりたいと一緒に過ごすことで感じました。同期や後輩には自分が練習していない分、うまく伝えることができなかったり、見学してるやつに言われたくないんじゃないかと考えてしまい、ラクロスに関してあまり意見できなかったりしたことは本当に申し訳なく思います。そんな自分にも積極的にコミュニケーションをとってくれて感謝しかないです。自分にとって成長できる環境がラクロス部で得られました。今後はOBとして現役がラクロスに集中できるよう支えていきたいです。



小林航大 こばやし こうだい
MF

引退までラクロスが続けられてよかったと感じることは「最高に気持ちいい瞬間を経験ができること」です。僕にとってのその瞬間はfinal4の岡大に勝った時でした。松大戦からの2週間は岡山に勝つことを目標に練習をして、岡大に勝つことができ同期や後輩と喜ぶことが出来ました。辞めるかどうか悩み続けながらとりあえずもう少し続けるかという気持ちでここまで続けていた自分にとって、この経験はそれだけで4年間しんどくても続けてきたことと同じかそれ以上の価値があると感じたし、心の底から辞めずに続けてきてよかったと思えました。こんな4年も頑張ることと同じくらい最高な一瞬はラクロス部に入ってなかったら経験することのできないものだと思います。

そして引退して練習に行かなくなって気が付いたことですが、大学生になって週5以上会う人なんてほとんどいなくて、朝早くに前日のバイトの話とかしながらアップするとか当たり前に感じてたことも、ラクロス部に入っていたからできていたことだったんだと実感してます。続けるのしんどいなと思ってる人はきっとどこかで続けてよかったと思う瞬間が来ると思うので、同期とかメンターでアップの時にどうでもいい会話しながらとりあえずもう少しだけって気持ちで頑張っ続けてみて欲しいです。この4年間関わってくれた同期や先輩、後輩、コーチの皆さんありがとうございました。最高に楽しい経験ができました。





岸瑞季 きしみずき
TSリーダー

今年度チームを応援してくださった方々本当にありがとうございました。入部してから引退するまでのことを振り返ると、たくさんの人と出会い、多くのことを経験することができたと思います。

1回生の頃は、新人戦優勝を目指して同期のためにがむしゃらに頑張ることができました。また、上回生が中四国制覇する瞬間を目の当たりにし、自分達の代でも絶対に優勝するんだと思ったことを今でも覚えています。ウィンターが終わってからは上回生チームに合流し、今までとは違う雰囲気では自分はスタッフとしてまだまだだなあと感じました。2月にはつま恋に参加させてもらいました。

2日目の試合のベンチをゆうなと2人任されたとき、自分に務まるのか不安でいっぱいだったのですが、そんな私に先輩スタッフが勇気づけてくれてとても嬉しかったです。その後はコロナウイルスの流行により多くの活動が制限されました。このとき、部活のために貢献できることをしなければならないと思いながらも、何かと4回生の指示に頼りきりだったなと思います。

3回生では、幹部に入れてもらうことでチームの運営に関われる立場になりました。会計や予定表の作成、月刊OSなど朝の部活以外の仕事が増えることで大変にはなりましたがチームの一員という自覚がより一層強まった気がします。2年振りのリーグ戦も開催され、念願だったFINALのベンチに入れてもらうことができ、とても嬉しくて4回生の期待に応えられるよう必死に頑張りました。自分がチームの最上回生になり、チームスタッフリーダーという役職についてからは、自分のことを客観的に見ることができず葛藤の日々でした。

自分がこれまで経験してきたことを後輩に伝えていきたかったけど、自分の言っていることは本当に合っているのか？きちんと伝わっているのか？4回生として尊敬される姿を見せれているのか？そんなことを考えながら部活に行っていました。そんな不安や悩みを感じながらも最後までやりきる事ができたのは同じように悩みながらも頑張る同期や、相談に乗ってくれる先輩の存在が大きかったと思います。特に最初から最後までずっと一緒にやってきた同期スタッフ5人の存在は、私にとってとても支えになりました。全員の個性が強いため、意見がぶつかることや上手くいかないこともありましたが、最後に相談するのは同期スタッフだったし頼りにもしてました。

新チームになって、スタッフは今までより大変になることや悩むことが増えると思います。1.2回生のみんなは、言いたいことは我慢しすぎずに話し合いを重ねながら自分たちなりのやり方を見つけてほしいと思います。答えが見つからないときは私たち6人を頼って欲しいです。いつでも力になります。

最後に4年間を通して私は「誰かを支えるために仕事をする」とモチベーションにしていました。自分のためより、誰かのために仕事をするのが好きだったからです。しんどいときやつらいときでもチームのため、選手のため、同期のため、そう思うことで力が出て頑張ることができ、結果的に自分のためになっていたなと思います。後輩の皆も、ただ何も考えずに4年間を過ごすよりも自分が引退までにどうなっていたいか、どんなラクロス生活を送りたいか想像してみてください。そうすると自ずと今やるべきことが見えてくると思います。私にとって、ラクロス部で過ごした時間はかけがえのない宝物となりました。最高の青春を本当にありがとうございました！





岡部智希 おかべともき

MGリーダー

男子ラクロス部に入ったおかげで、この4年間で一生忘れられないものになりました。4年間続けられたのは周りの人に恵まれていたことが大きいと思います。毎朝ちゃんと起きて部活に行けたのも、行きたいと思わせてくれる仲間がいたからです。

スピーチで、自慢できることは無遅刻なことくらいと言ったんですが、毎朝やる気があったわけではありません。今日は行くのめんどくさいなって思いながらメイクしてた日もあります。でも行くと、結局楽しいんです。真剣に練習するみんなはカッコいいし、冗談言って笑ってるみんなは可愛いし、TSも誰が上手くなったとわかるもので、そういうところを見ると自分も頑張ろうって思えます。練習終わりにみんなでグダグダするために行ってたみたいなのもあります(笑)

みんな1回は続けてる理由がわからなくなってしまう時があるのかなって思います。こなればそれが一番いいんですけど。そういう時はとりあえず練習に行くのがいいと思います。1人で考えてたってマイナスな方向にいくだけです。とりあえず行ってやる気出なかったらしんどいって帰ったらいいと思います。怒られるかは知りません。バイトと一緒に行ってしまえば楽しいみたいなのこきっとあります。そうやってたらいつの間にか4年経ってます。あっという間でした。本当にあっという間で、1日1日をもっと大事にしたら良かったなって今になって思います。



まとめるとみんなにラクロスを続けてほしいです！この達成感を味わってほしいです！

長くなりましたが、関わってくれた先輩、後輩本当にありがとうございました。ラクロスというスポーツに出会えて幸せです。

最後に同期！1番近くでワクワクさせてくれてありがとう。最後までみんな本当にかっこよかった。今でもアルバム見たら泣いちゃうくらい悔しいけど、全部忘れません。出会えたみんなに感謝です。





武内夏蓉 たけうちかよ
TR

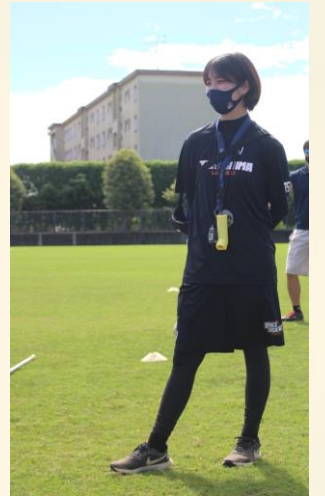
私の大学生活4年間は、ラグロス部の思い出でいっぱいです。ラグロス部に入って、多くの方と出会えたことは、私にとって人生の宝であり、ラグロス部に入ってよかったことだと思っています。ラグロス部に入っていなかったら、素敵な先輩、後輩、同期たちに出会うことができなかったと思うと、巡り合わせというのはとても感慨深いものだなと感じました。

1年生の頃の新歓で、練習中とイベント時の雰囲気ギャップに心を打たれ、とても楽しそうにしていながらも、真剣にラグロスと向き合う先輩の姿に憧れました。私もこんな風にキラキラした大学生活を送りたいと思い入部しましたが、実際は楽しいことばかりではなく、、、入部当初は同期マネとうまく行かず、マネージャー間でギクシャクしてしまいました。今ではそれもいい思い出ですが、当時はとても辛かったです。しかし、お互いに気持ちをぶつけ合うことで関係が深まり、今では仲の良い友人・仲間としてマネージャー全員誰も辞める事なく4年間続けることができました。辛かった時期、相談に乗ってくださる先輩と同期のおかげで、こうして最後までやり遂げることができ、本当に感謝しかありません。



また、私は看護学専攻なので部員とはほとんど部活でしか会えませんでした。なので、毎日部活に行き、練習をし、練習後グダグダ話をし、時には一緒にご飯も行ったりするあの時間が大好きでした。4年間の中で当たり前となっていた生活がなくなり、部員と会えなくなるのはとても寂しいですが、引退後の生活も楽しもうと思います。2月には看護の国家試験も控えてるので、勉強にも力を入れつつ、息抜きに後輩に会いに行けたら良いなと思います。

この4年間での出会いは一生大切にしたいです。私が先輩方にしてもらったように、今後は後輩たちに還元できたら良いなと思います。これからも徳島大学男子ラグロス部の力になれるよう尽力していこうと思います。





宮田侑奈 みやたゆうな
SG, MG

ラクロス部に入って大切な時間を過ごすことができました。お金では買えない一生ものの宝物だと思います。4年間を通して、先輩、コーチ、後輩そして一番は同期にたくさん支えられました。泣き虫な私は小さなことでよく泣きましたが、その度に同期が笑わせてくれました。TSとは常に自分の考えを伝えあい、楽しい時も辛い時も切磋琢磨しながら乗り越えました。それぞれ気の強い部分もあり、たくさんケンカもしましたが、私にとって6人で過ごした日々は特にかげがえのない時間でした。

2年生になってからは、中四国SGとして部外での活動が増え、ラクロスと安全について考えてきました。防具の着用率UPに向けて何度も話し合いや、講習会、座談会を通して私個人の知見を広めつつ、それが徳島大学男子ラクロス部のためになってほしいと思いました。この活動によって中四国ラクロスを支えてくださっている社会人の方と

お話しでき、私にとってTSの可能性やチームでのTSのあり方について考えが大きく変わったと思います。TSとしてチームから一步出ることによって、見える世界も見え方も一気に変わりました。



最上回生になり学業のために部活に行ける日が減ったり、院試の焦りで朝練に行くのがつらくなったりした時もありましたが、グラウンドで頑張っている同期や後輩の姿を目にして何度も励まされました。みんながいっぱい話しかけてくれたのも本当に感謝しています。今でも入部した日を鮮明に覚えています。大好きなみんなと過ごした時間は本当に一瞬でした。4年間で得たものをずっとずっと大切にしたいと思います。ありがとうございました。





酒井花乃 さかいはなの
TR

4年間続けてよかったことは、いろいろな人に出会えたことです。ラクロス部に入った人たちの大学生活が充実していたのは部活の仲間がいたからだと思います。毎日起きて朝練がんばって、試合で1日動き回って、合宿のためにバイトして、これはぜんぶ大好きな同期や尊敬する先輩、可愛い後輩といっしょにいたから楽しかったんだな、充実した毎日だったんだなって思いました。とくに同期マネにはほんと感謝で、6人みんな残って引退できたことがほんとに嬉しかったです。

これからもOGとして関わっていくつもりだから新入生に会えるのも楽しみだし、まだ出逢ってないOBGの方々に出逢えるのもすごく楽しみです。



高田乃杏 たかたのあ
TR

一生に一度のこの4年間で、沢山のことを学んだし、一生の宝物ができました。

一年の時、高校でMGをしなかったことに後悔し、新しいことをやってみたいと思って飛び込んだラクロスの世界、当時は軽い気持ちでしたが、入部して良かったと思っています。私は家が遠く、阿波市から40分くらいかけて自分の車で通っていました。正直なところ、毎朝4時台起床はきつかったし、しんどいと思うことも多々ありました。でも、そのきつさを余裕で上回る先輩、同期、後輩PLのかっこいいplay姿や、同じTSとして頑張っている姿を見ると、私も頑張ろう！って思えました。よく部員には、「ほんまに遠いのに4年間よく頑張ったよ」って言ってもらいます。でも、私が辞めたいとも思わず、4年間続けて最後まで走り抜けたのは、自分が頑張ったよりも、周りのみんなの頑張っている姿に支えられていたからです。

私の最後の青春を徳島大学男子ラクロス部の人たちと過ごすことができ、本当に良かったです。心の底からありがとうございました。まだ自分がOGの立場であるということに実感がなく、自覚もまだ持っていない状態ではありますが、今後は現役を支えていく身として、チーム、ラクロスに関わっていきたいと思っています。今後とも宜しくお願いします。



◆1回生練習試合

岡山大学戦

10/16(日)に岡山大学グラウンドにて、岡山大学と6on6形式となつてから初めての練習試合を行いました。
勝利することは出来ませんでした、各ポジション課題を見つけることが出来ました。この練習試合で出た課題を克服し、新人戦ウィンターステージでリベンジ出来るよう練習に励みたいと思います。



試合結果

1試合目	前半	後半	Total
徳島	0	1	1
岡山	3	0	3

	前半	後半
得点者	—	#89 中村梨音

2試合目	前半	後半	Total
徳島	1	1	2
岡山	0	2	2

	前半	後半
得点者	#89 中村梨音	#2 小山新太郎

関西遠征

11/6(日)に京都大学宇治グラウンドにて、京都大学と同志社大学との三つ巴練習試合を行いました。普段は対戦することのない関西の大学の实力を知ることができました。また2試合とも無得点と悔しい結果になりましたが、自分たちの課題を発見し、いい刺激を受けることが出来ました。

試合結果

	前半	後半	Total
徳島	0	0	0
京都	1	0	1

	前半	後半	Total
徳島	0	0	0
同志社	0	0	0

ギャラリー



◆第21号作成者

4回生みんな、かっこよくて大好きです。編集していて先輩たちの言葉がとても心にじんとききました。引退してしまってさみしい気持ちでいっぱいですが、TSの最上回生としてチームを引っ張っていき、支えられる存在になれるように私も頑張ります。

(新開羽夏/2回/TS)



4回生の先輩方が引退されて、スタッフの人数が減り、自分の役割が増え、4回生の偉大さに気づかされています。2回生を支え、信頼されるスタッフに成長していきます。ウィンターステージでは、サマーステージの悔しさをバネにして優勝したいです！

(山崎愛妃/1回/TS)



4回生が引退され、いつものにぎやかさが少し減ってしまったように感じます。また、スタッフの人数が足りず大変な毎日です…。自分がやるべきことをしっかり見据えてみんなの負担を少しでも減らせるように仕事をしたいです。新歓も一生懸命頑張ったたくさんのスタッフを入れたいと思います！

(長瀬藍里/1回/TS)

◆TEAM SPONSOR LINK



🏠 アイフルホーム徳島
アカウント



🏠 アイフルホーム徳島
人事グループアカウント

